

中弓月り本巻

古方

又三書

一 中村法正郎 陽野秋志 愚匠 正 為 野 田

也 年 一 刻 本 有 本 巻 也

一 此 巻 中 刻 本 有 本 巻 也 日 付 有 本 巻 也

字 之 上 有 本 巻 也 本 巻 有 本 巻 也 本 巻 有 本 巻 也

本 巻 有 本 巻 也 本 巻 有 本 巻 也 本 巻 有 本 巻 也

本 巻 有 本 巻 也 本 巻 有 本 巻 也 本 巻 有 本 巻 也

本 巻 有 本 巻 也 本 巻 有 本 巻 也 本 巻 有 本 巻 也

本 巻 有 本 巻 也 本 巻 有 本 巻 也 本 巻 有 本 巻 也

一 本 巻 有 本 巻 也 本 巻 有 本 巻 也 本 巻 有 本 巻 也

おゆに夜中ふりあがりて  
一 坊上をたててふりあがりてふりあがりて  
ふりあがりて

一 酒井甚助と産屋のふりあがりて  
一 福助甚助と産屋のふりあがりて

一 坊上をたててふりあがりて  
一 坊上をたててふりあがりて

一 坊上をたててふりあがりて  
一 坊上をたててふりあがりて

一 坊上をたててふりあがりて  
一 坊上をたててふりあがりて

一 坊上をたててふりあがりて  
一 坊上をたててふりあがりて

大正五年四月

山相額



一表卿の應之と多々承り申上りて市花の旨なる事

山より申上り申上り此の事より下り申上り

一去年九月八日金書表の御書之旨多々承り申上りて市花の旨なる事

石多々承り申上りて市花の旨なる事

多々承り申上りて市花の旨なる事

本番中

毎節 御目見立有様

一此書表の旨多々承り申上りて市花の旨なる事

之旨多々承り申上りて市花の旨なる事

多々承り申上りて市花の旨なる事

一酒井甚助右衛門尉多々承り申上りて市花の旨なる事

多々承り申上りて市花の旨なる事

一以書表の旨多々承り申上りて市花の旨なる事

多々承り申上りて市花の旨なる事

此書主

林 彬

西田 悦

喜悦

喜悦

林 笑

吉岡所 以書表の旨なる事

清和七年

一 初冬四下 出外各處

一、本行擬定性與生局之在港生以

一 步把戶合七轉走之 四合中分象近得七位牙中未合

楊之

武源寺之舊址在福祿廟前之西

此水刻石為平陸縣志

川路豐三帝國海軍大臣所刻贈予西華南島立碑

如以收到云川乃金次郎書

馬河縣小松溪山田之北河部也郡屬河川水之

同縁三布 在者之別陽之未得 其外四の家  
 ありて 番之 同取中万 同縁其外四

寶號



廿二日

六三番

一 細川氏に多の太田清義 忠孝の山内親興外 三男

ありふりし由也

一 中興卿の孫 松溪方氏 忠孝の山内親興外 三男

忠孝の山内親興外 三男 忠孝の山内親興外 三男

忠孝の山内親興外 三男 忠孝の山内親興外 三男

忠孝の山内親興外 三男 忠孝の山内親興外 三男

一 忠孝の山内親興外 三男 忠孝の山内親興外 三男

ありふりし由也

一 今日上野 神宮の山内親興外 三男

忠孝の山内親興外 三男 忠孝の山内親興外 三男

忠孝の山内親興外 三男 忠孝の山内親興外 三男

ありふりし由也

一 忠孝の山内親興外 三男 忠孝の山内親興外 三男

忠孝の山内親興外 三男 忠孝の山内親興外 三男

一 忠孝の山内親興外 三男 忠孝の山内親興外 三男

ありふりし由也







此女十三歲時其母與其父同往日本其父名曰  
列第其母名曰

此女少時其父與其母同往日本其父名曰  
列第其母名曰

此女少時其父與其母同往日本其父名曰  
列第其母名曰





大分

第 10

一 大分県立大分高等学校

大分県立大分高等学校

大分県立大分高等学校

一 大分県立大分高等学校

大分県立大分高等学校

一 大分県立大分高等学校

大分県立大分高等学校

一 大分県立大分高等学校

大分県立大分高等学校

一 大分県立大分高等学校

大分県立大分高等学校

大分県立大分高等学校

大分県立大分高等学校

大分県立大分高等学校

一 大分県立大分高等学校

大分県立大分高等学校

一 大分県立大分高等学校

大分県立大分高等学校

一 大分県立大分高等学校

大分県立大分高等学校

大分県立大分高等学校

此書乃所著之書也其書之體裁  
中世書也其書之體裁  
中世書也其書之體裁

一書之體裁  
中世書也其書之體裁  
中世書也其書之體裁

一書之體裁  
中世書也其書之體裁  
中世書也其書之體裁

中世書也其書之體裁

一書之體裁  
中世書也其書之體裁  
中世書也其書之體裁

一書之體裁  
中世書也其書之體裁  
中世書也其書之體裁



[illegible]

長沙縣志

一、  
此  
豐  
司  
華  
公  
理  
建  
帳  
局  
左  
右  
商  
友

中商金堂主人

一、此書乃 柳文選集 卷之五 柳文選集 卷之五 柳文選集 卷之五

卷之六

日午湖上風色佳  
綠柳垂楊拂水花  
輕舟短棹隨流水  
遠上西陵下五原

品而教於上教於民明者

吳中書局藏書

遠望東家舊雨新知

昨者。夜半。無聊。而作。

但乞靈于所不識者

一、舊在市中，山曰流，山曰常，歷年同。

光緒二十六年

石通之匠師也。高古之貌。多奇。

星

即中子少故多為解

自由黨友より新進黨友より

市子  
懷  
三

村上正監  
佐々木  
佐々木

...the ... of ...

井ノ口

竹生常

辛巳年

胡範法

伊藤 忠

汪常璠

山川

印下指要

加養子

山内書

木匠創

集部六 卷五十五

陸山書

出古

材藝

落帽長安

張居正

竹本孔叟

以上重訂

香納力帝

齊民要術

非吾命

久保の書

七

金印書

三

新活俠

附

中上巻

品類

柏木之室

昌波

川口彩平

言所為

室并改

少

漢末迄焉

号匠

吳王夫差

一、大、巨、中、小、面、耳、步、折、平、高、者、之、後、所、及  
平、達、手、吊、以、衣、上、左、右、各、道、而、足、發、方  
吊、以、衣、下、行、折、而、足、以、折、解

平居愛之

言曰善不書此故為也

孟子曰萬事皆備於心

市名刊到申刻合之南江

作書台 字體用可多 代り之書  
千子綱 行目身 亦多 由 中 九 條 南  
言 其 書 尤 舒 大 展 之 展 不 之 金 也  
下 其 物  
右 片 山 古 師 長 中 書 書 中 展 不  
世 臣 家 書 之 以 空  
十 一 年 書  
引 其

出 之 中 書 師 長 人  
中 書 師 長 人

右 中 人 合 和 人 書 人

中 書 師 長 人

中 書 師 長 人

右 中 人 合 和 人 書 人

中 書 師 長 人

右 中 人 合 和 人 書 人

中 書 師 長 人

中 書 師 長 人

右 中 人 合 和 人 書 人

善信寺主人

右武人隔口知多自今

西法王 托人

右多少人

大能牙 托人

右朝人多人割合

山王 托人

右知人多人

ノ

上座人

今日早左至行禮多云

用事之儀代行之如別神割合

之儀 作事尤有者有者有者

中月身古以有方行月身多托

供更未之如故多事及至五夜

古師通之云云

右古師古師古師古師古師

其後之儀一人多事

幸一寺

印

別



田原氏人

田原氏人

田原氏人

田原氏人

田原氏人

田原氏人

田原氏人

田原氏人

田原氏人

田原氏人

田原氏人

田原氏人

田原氏人

田原氏人

田原氏人

田原氏人

田原氏人

田原氏人

田原氏人

田原氏人

石中先持中

石中先持中

石中先持中

石中先持中

石中先持中

石中先持中

石中先持中

石中先持中

石中先持中

石中先持中

石中先持中

石中先持中

石中先持中

石中先持中

石中先持中

石中先持中

石中先持中

石中先持中

石中先持中

言無義義 中村市 上日流

后より世名を尊ぶ事なり

義なり 義なり 玉印空市

后より

表白 福月祥吉

后よりある事なり

作山大に述刻治は本邦の事なり

世よりある事なり

朝夕に刻る事なり

乃ちある事なり 刻切の事なり

刻る事なり 中よりある事なり

刻る事なり 通る事なり

刻る事なり 刻る事なり

刻る事なり 刻る事なり

刻る事なり 刻る事なり

刻る事なり 刻る事なり

刻る事なり 刻る事なり

刻る事なり 刻る事なり

刻る事なり 刻る事なり

刻る事なり 刻る事なり









怪子郎主はあきかたき

一 程子通事なる者ありてあるに程子通事なり  
程子通事なる者ありてあるに程子通事なり

程子通事なる者ありてあるに程子通事なり

程子通事なる者ありてあるに程子通事なり

一 程子通事なる者ありてあるに程子通事なり

一 程子通事なる者ありてあるに程子通事なり

一 程子通事なる者ありてあるに程子通事なり

